

## 山梨県造園建設業協同組合



総合窓口「サービスセンター」

山梨県造園建設業協同組合(帯金岩夫理事長)は、平成26年度より「武田の杜保健休養林」の指定管理(期間は5年)を受託した。武田の杜は甲府市の北側に広がる約2,500haの森林区域(一帯)で、45kmにおよぶ遊歩道が整備されている。昨年森林セラピー基地として認定され、豊かな自然の中で四季折々に変化する森林に親しみながら、森林レクリエーション、ハイキング、森林浴などの活動や森林環境教育の場として利用できるよう整備されている。

武田の杜には、県産材を利用して新築されたサービスセンターや森林学習展示館、キャンプ場、バーベキュー施設、野鳥昆虫観察小屋などがある健康の森をはじめ、鳥獣の標本、文献資料、生態写真を備えた鳥獣センター、320種類にもおよぶ樹木を観察できる樹木見本園などの施設と多くの史跡や文化遺産がある。組合では、4月のさくらまつりを皮切りに体験教室やハイキングイベント、トレイルランニングレースなど四季を通じて自然と親しむことのできる盛り沢山のイベントを展開していく。また組合は、公募型プロポーザル方式の企画提案により、今年度山梨県より「緑の普及啓発事業」の業務委託を受けており、3月に廃止となった山梨県緑化センターの後継事業として「緑の相談所」事業と「緑の教室」事業を行い、県民の緑に対する様々なニーズに応えていく。

帯金理事長は、「武田の杜の片山(大宮山)の展望台からは富士山、甲府盆地、南アルプス、八ヶ岳など、360度のパノラマが見渡せます。サービスセンター、鳥獣センター、造園建設業会館の拠点に公園管理運営士、森林インストラクター、樹木医、獣医師などの資格を持つ12名の職員を配置しており、組合員には下刈りなど管理作業やイベント運営など緑の専門家としての協力を得ながら、緑化の普及や技術力のさらなる向上に取り組みんでいきたい。」と述べた。

